

金融先物取引に関する個人投資家の 意識調査における概要

2017年4月

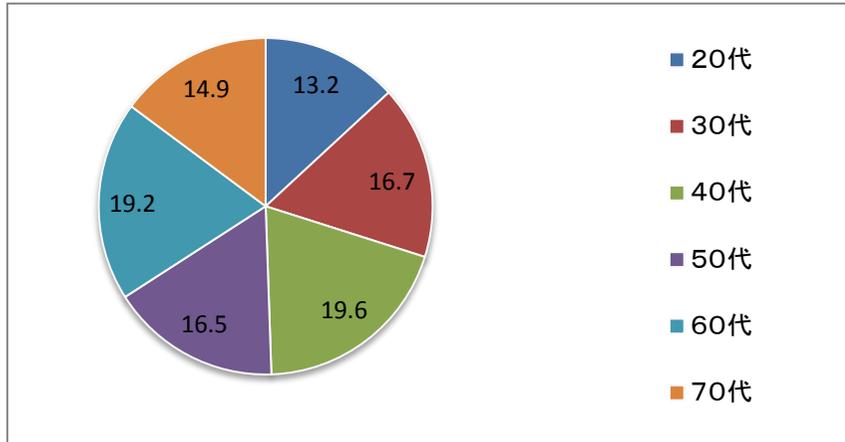


調査概要

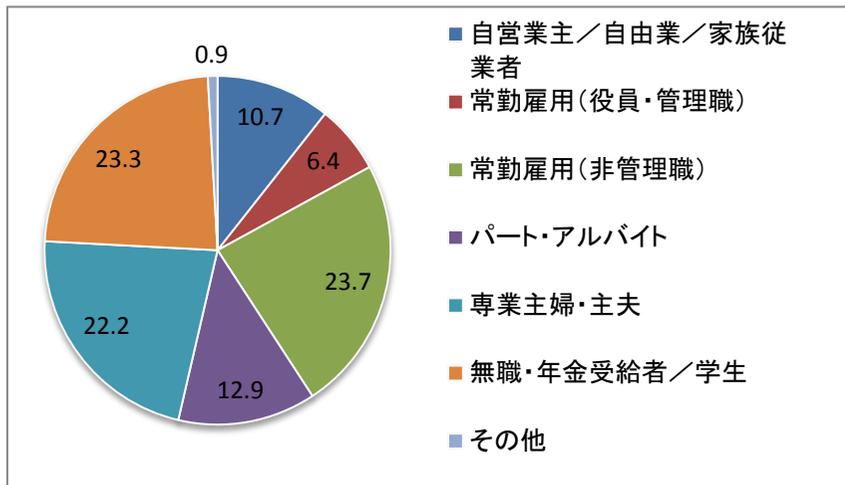
調査対象者	全国20～70代一般男女個人(※日本リサーチセンターWEBパネルより抽出) 計2,000名
調査対象者	地域区分:全国を一都三県/二府二県/その他の3地域に分割し、平成27年国勢調査結果に沿って、対象者を構成。 ※ 一都三県:東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県 二府二県:大阪府/京都府/兵庫県/奈良県 その他:上記以外の道府県
調査方法	インターネット調査
調査実施期間	2017年2月17日(金)～23日(木)

1. 調査対象者(回答者)の属性

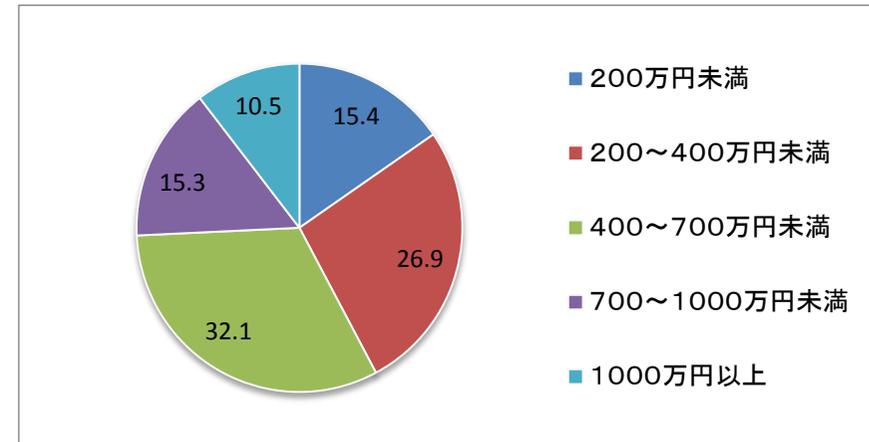
①調査対象者(回答者)の世代別分類 [%、n=2,000]



②調査対象者(回答者)の職業別分類 [%、n=2,000]



③調査対象者(回答者)の年収別分類 [%、n=2,000]

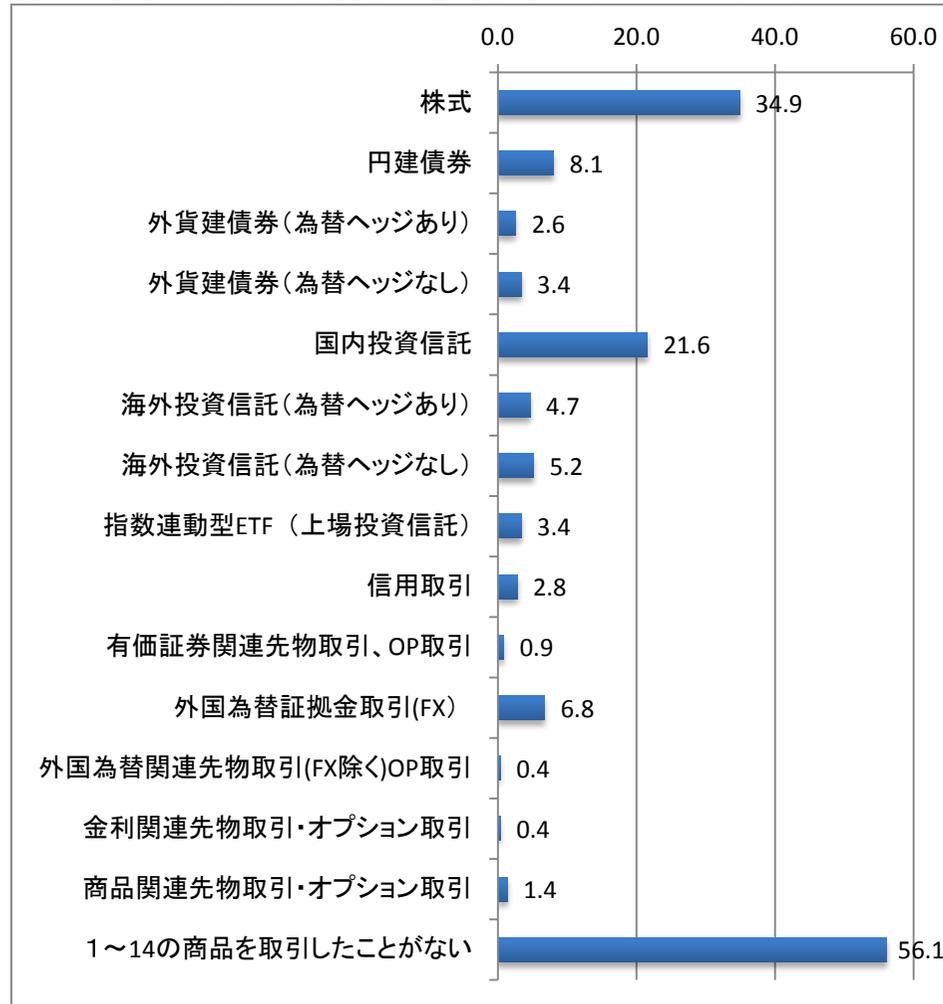


・調査対象者(回答者)(以下省略)の平均年収は約553.5万円(代表値を与えて平均値を算出)であり、年収700万円未満は全体の約74%を占める。

・自営業等及び常勤雇用等の全体に占める割合は、全体の約41%、無職・年金受給者等は約23%となっている。

2. 取引経験・商品認知度・商品理解の意欲等

①取引経験のある金融商品（複数回答） [%、 n=2,000]

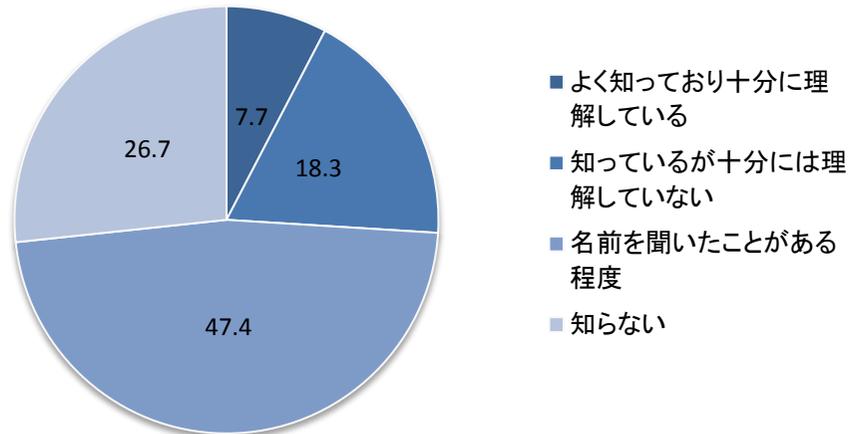


・取引経験のある金融商品は、「株式」が 34.9%、「国内投資信託」が 21.6%、続いて「円建債券」が 8.1%となっている。

・「外国為替証拠金取引（FX）」は 6.8%と個人が直接行う証拠金取引の中では、最も取引経験者が多い金融商品であった。

・左記の金融商品につき未経験者が 56.1%と半数以上であった。

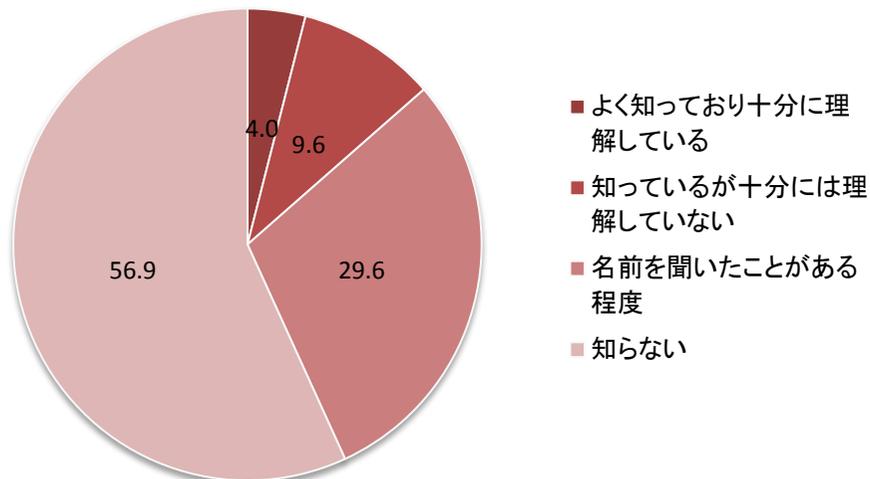
②金融商品取引の認知・理解度 a) 先物取引 [%、 n=2,000]



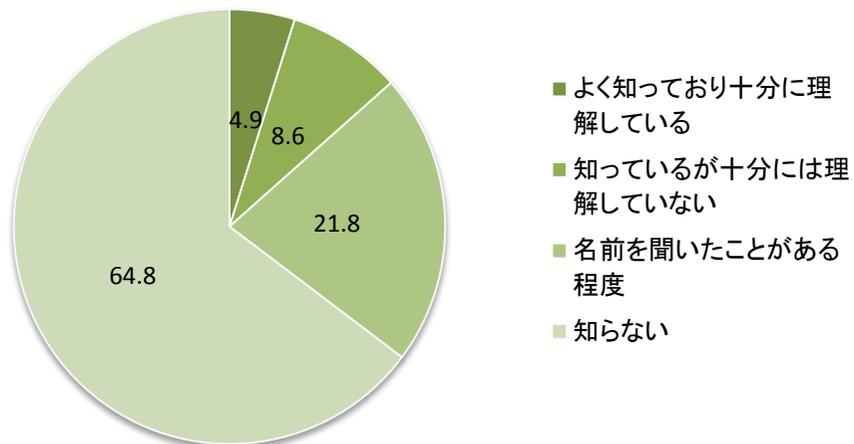
・先物取引及びオプション取引の認知度及び理解度は、『知っている』以上の比率（「よく知っており、内容を十分に理解している」及び「知っているが、内容を十分には理解していない」）の合計による全体との割合は、先物取引が26.0%、オプション取引が13.6%であった。

・先物取引及びオプション取引を「知らない」（認知していない）割合は先物取引が26.7%、オプション取引が56.9%であった。

②金融商品取引認知・理解度 b) オプション取引 [%、 n=2,000]



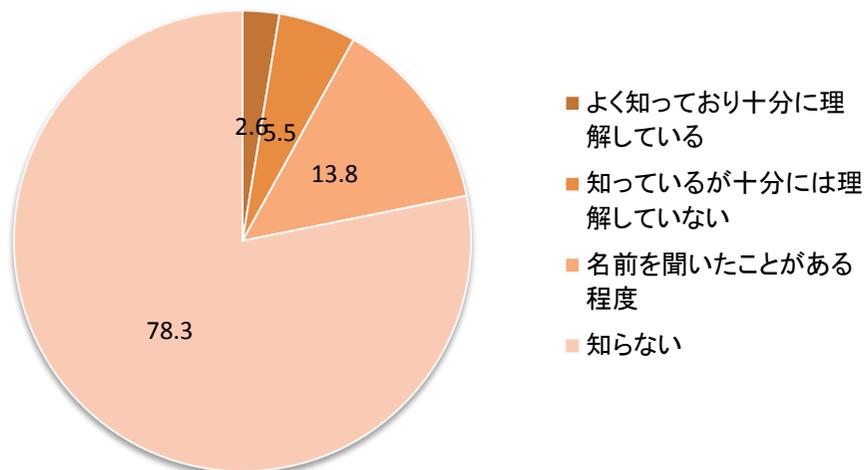
②金融商品取引の認知・理解度 c) 証拠金取引 [%、n=2,000]



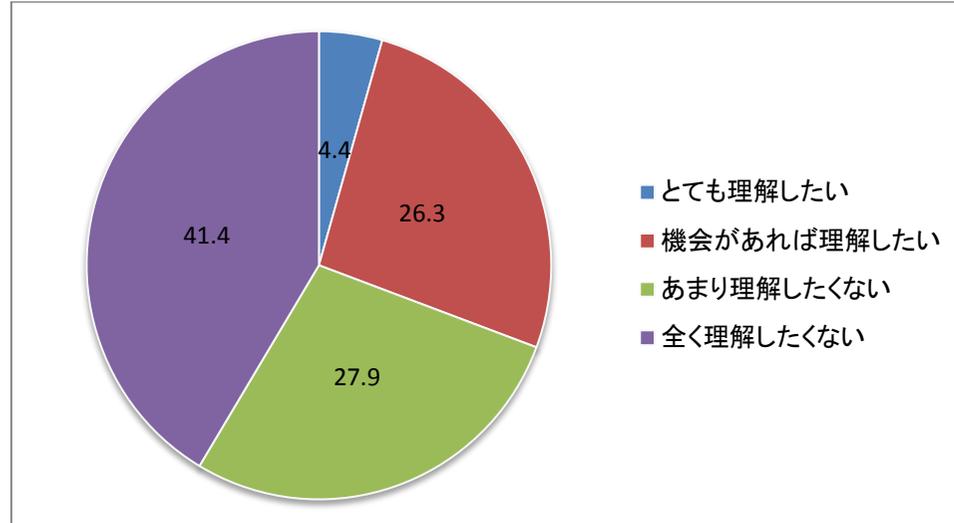
・ 証拠金取引及び CFD 取引の認知度及び理解度は、『知っている』以上の比率（「よく知っており、内容を十分に理解している」及び「知っているが、内容を十分には理解していない」）の合計は、証拠金取引が 13.5%、CFD 取引が 8.0%であった。

・ 証拠金取引及び CFD 取引を「知らない」（認知していない）割合は証拠金取引が 64.8%、CFD 取引が 78.3%であった。

②金融商品取引の認知・理解度 d) CFD 取引 [%、n=2,000]



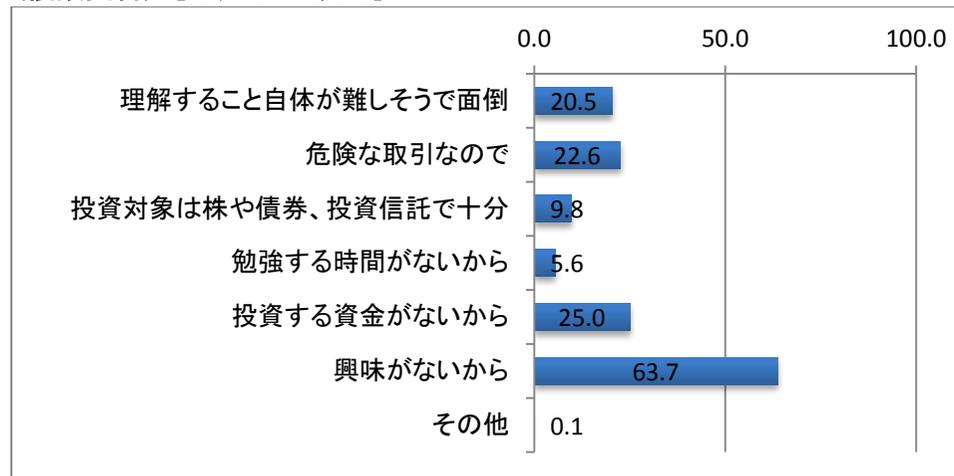
③先物・OP・証拠金・CFD取引を理解したいか [%、n=1,960]



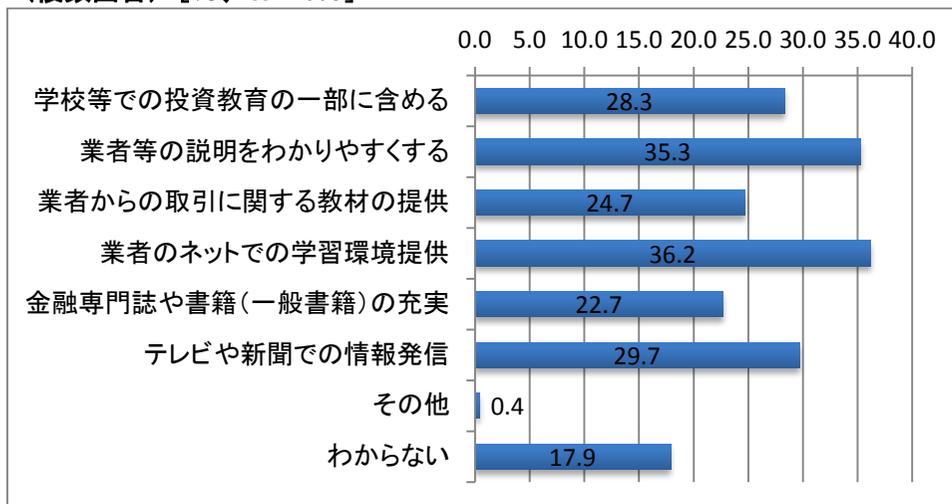
・先物取引、OP取引、証拠金取引及びCFD取引の理解への意欲は、『理解したい』以上の比率（「とても理解したい」及び「機会があれば理解したい」）の合計は、30.7%であった。

・先物取引、OP取引、証拠金取引及びCFD取引を理解したくない理由は「興味がない」が63.7%であった。

④先物・OP・証拠金・CFD取引を理解したくない理由 (複数回答) [%、n=1,358]



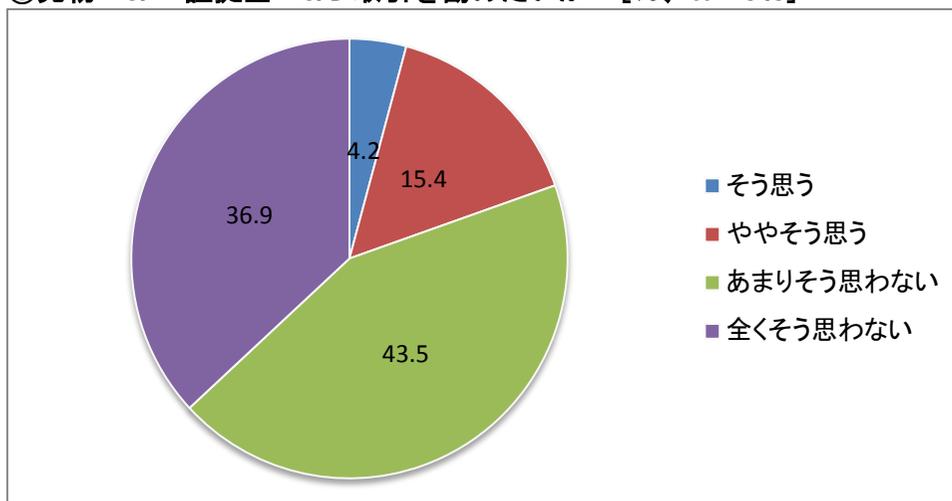
⑤先物・OP・証拠金・CFD 取引を理解するのにあるとよい方法
 (複数回答) [%、n=697]



・先物取引、OP 取引、証拠金取引及び CFD 取引を理解するのにあるとよい方法についての回答はネットでの学習環境の提供」が 36.2%、次いで「業者等の説明をわかりやすくすること」35.3%であり、業者の対応に関する内容が上位となった。

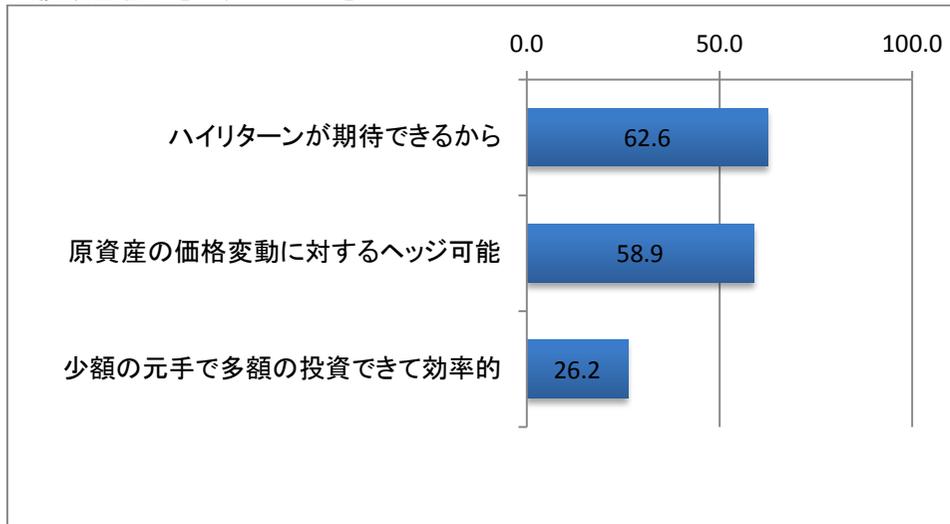
・先物取引、OP 取引、証拠金取引及び CFD 取引を(知人等に)勧めたいかについての回答は『勧めたいと思う』(「そう思う」及び「ややそう思う」の合計)の割合が 19.6%、『勧めたいと思わない』(「そう思わない」及び「ややそう思わない」の合計)の割合が 80.4%であった。

⑥先物・OP・証拠金・CFD 取引を勧めたいか [%、n=545]



⑦先物・OP・証拠金・CFD取引を勧めたい理由

(複数回答) [%、n=107]

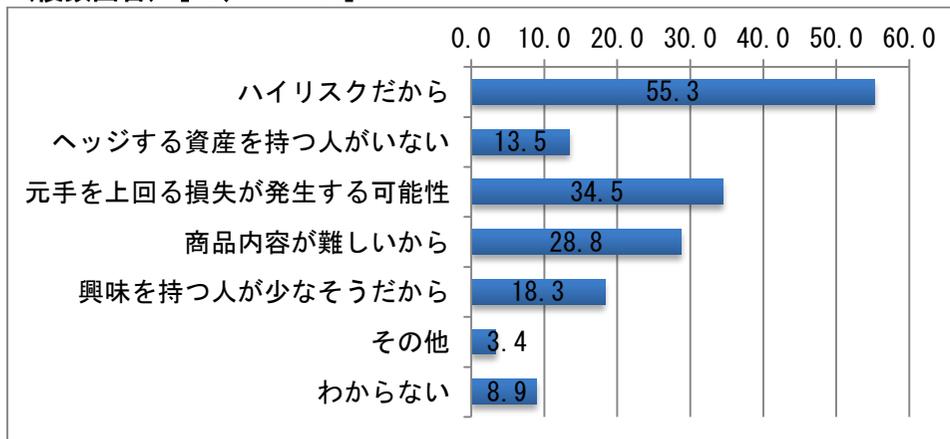


・先物取引、OP取引、証拠金取引及びCFD取引を、勧めたい理由は、「ハイリターンが期待できるから」が62.6%、「現物株式や外国通貨などの原資産の価格変動に対するリスクヘッジができるから」が58.9%であった。

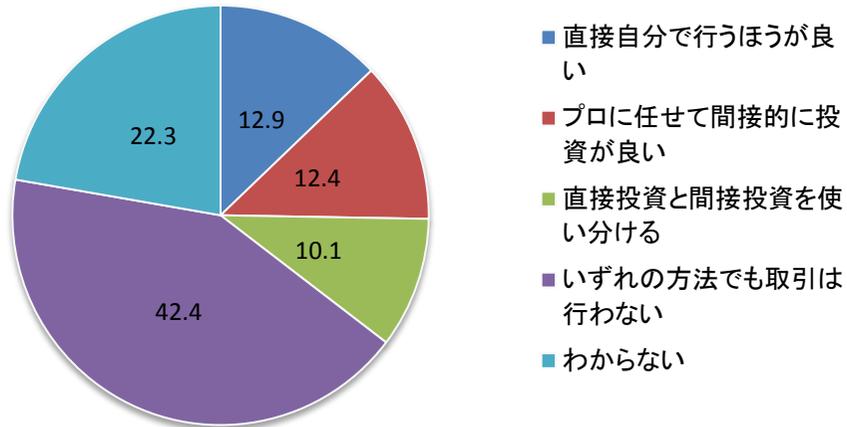
・先物取引、OP取引、証拠金取引及びCFD取引を、勧めたくない理由は、「ハイリスクだから」が55.3%、「元手を上回る損失が発生する可能性があるから」が34.5%、「商品内容が難しいから」が28.8%であった。

⑧先物・OP・証拠金・CFD取引を勧めない理由

(複数回答) [%、n=438]



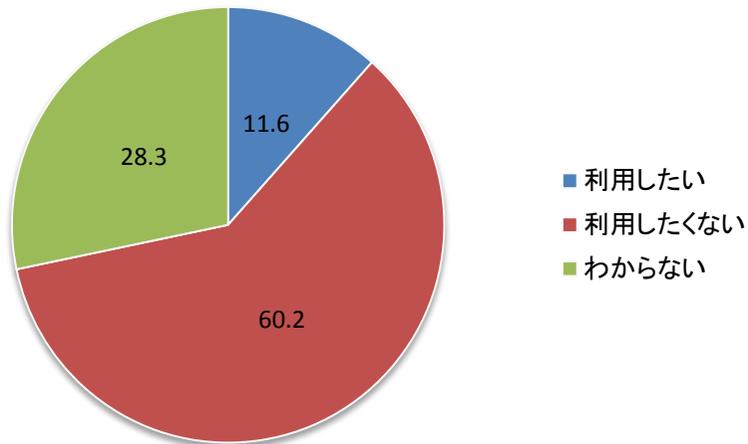
⑨デリバティブ取引 投資したい方法（直接／間接） [%、n=2000]



・デリバティブ取引を行う場合、どのような方法により投資を行いたい（投資したい方法）については、「直接自分で行うほうが良い」が12.9%、「プロに任せて間接的に投資を行うほうが良い」が12.4%、「直接投資と間接投資を状況によって使い分ける」が10.1%となっており、三者三様に分かれた。また、「いずれの方法によっても取引は行わない」が42.4%と最も高い結果となった。

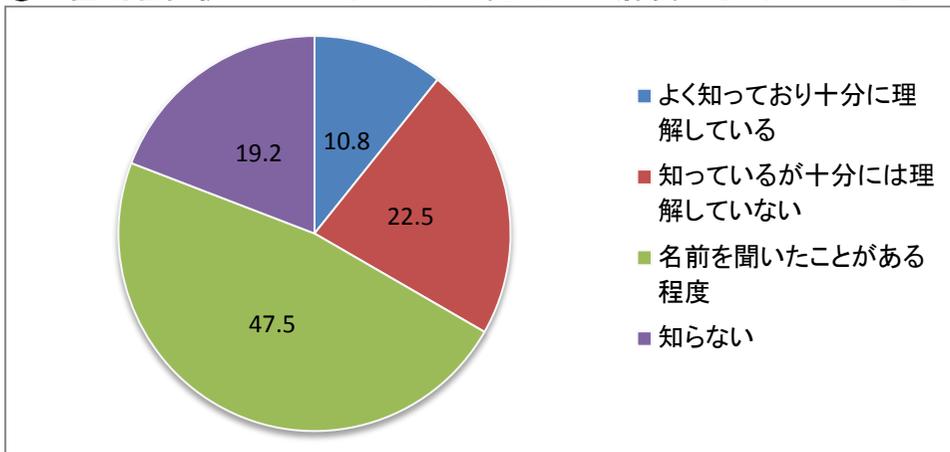
・金融商品を売買する際に、自動売買（所定のコンピュータープログラムに従って自動的に売買する方法）を利用したいかについては、「利用したい」は11.6%、「利用したくない」は60.2%であった。

⑩（金融商品を売買する際の）自動売買利用意向 [%、n=2000]

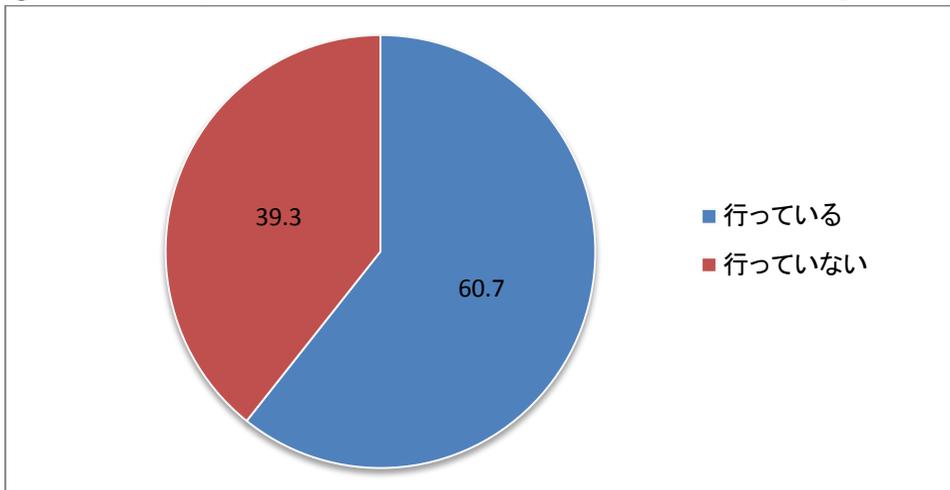


3. 外国為替証拠金取引（FX）についての意識

①外国為替証拠金取引（FX）の認知・理解度 [%、n=2000]



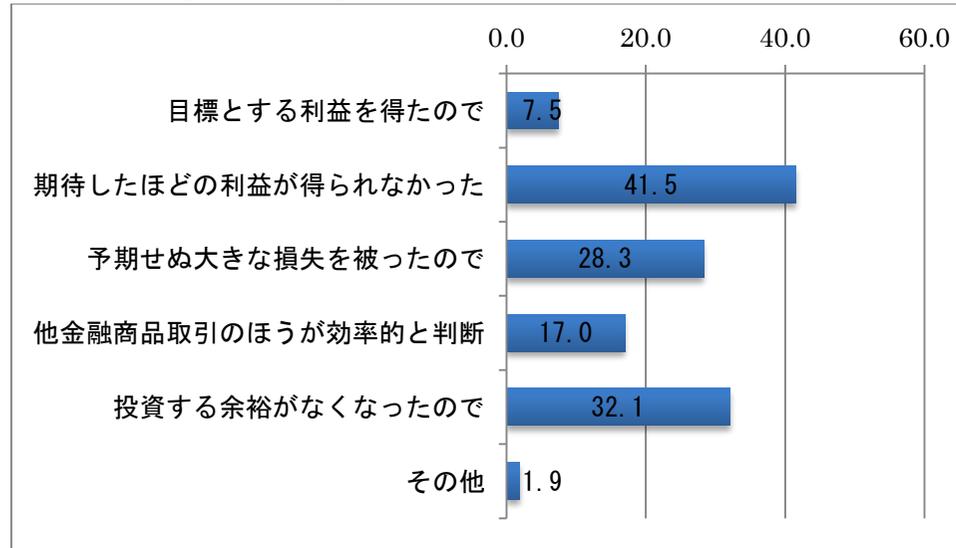
②外国為替証拠金取引（FX）の取引状況 [%、n(=2.①)=135]



・外国為替証拠金取引（FX）の認知及び理解度は、『知っている』（「よく知っており、内容を十分に理解している」（10.8%）及び「知っているが、内容を十分には理解していない」（22.5%）の合計）との回答は全体の33.3%であった。

・外国為替証拠金取引（FX）の取引経験者のうち、現在（調査実施期間時点のこと。以下同じ）でも取引を行っているの割合は60.7%であった。（参考までに全体からみると4.1%であった。）

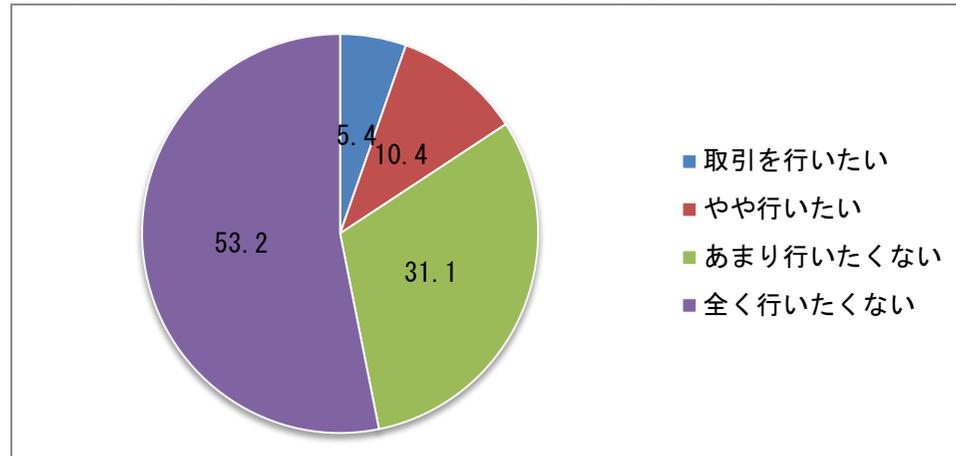
③外国為替証拠金取引（FX） 取引していない理由
（複数回答） [%、n=53]



・外国為替証拠金取引（FX）経験者で現在は当該取引を行っていない人における、取引していない理由は、「期待したほどの利益が得られなかった」が 41.5%で最も高く、次いで「投資する余裕がなくなった」が 32.1%、「急激な相場変動によって、予期せぬ大きな損失を被った」が 28.3%となっている。

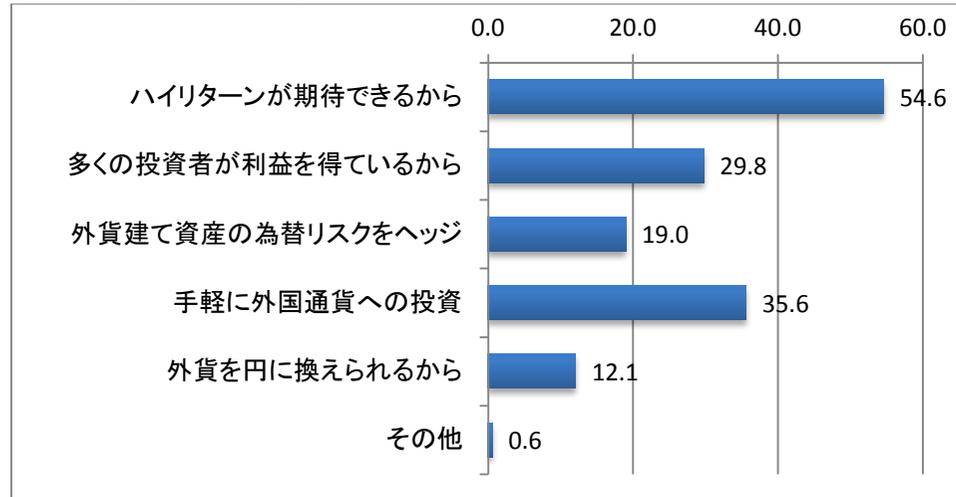
・外国為替証拠金取引（FX）における今後の取引開始（継続）意向（今後、取引を開始したい及び今後も取引を継続したいという意向）をみると、『行いたい』（「取引を行いたい」(5.4%) 及び「やや行いたい」(10.4%) の合計）の割合は 15.8%、『行いたくない』（「あまり行いたくない」及び「全く行いたくない」の合計）の割合が 84.3%であった。

④外国為替証拠金取引（FX） 取引開始（継続）意向 [%、n=2000]



⑤外国為替証拠金取引（FX） 取引を行いたい理由

複数回答[%、n=315]

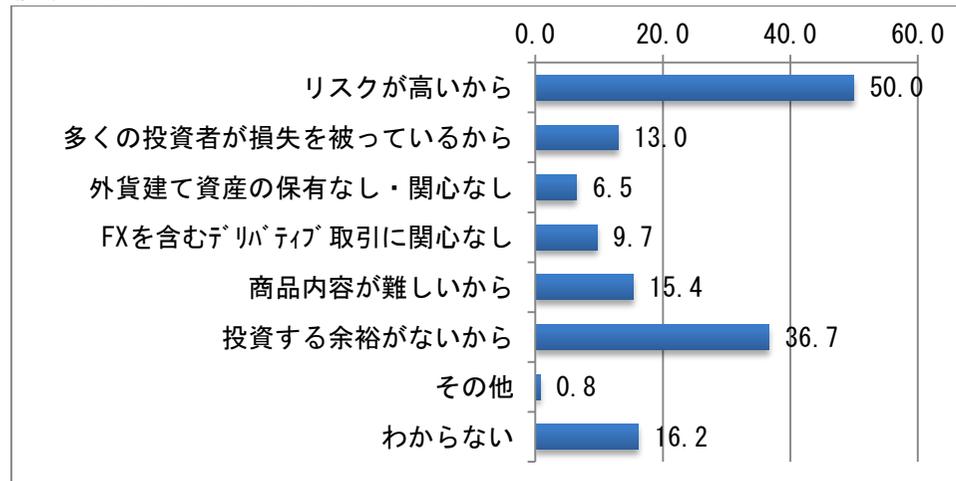


・外国為替証拠金取引（FX）につき、今後取引を行いたい理由は、「ハイリターンが期待できるから」が54.6%で最も高く、以下、「手軽に外国通貨への投資が行えるから」が35.6%、「多くの投資者が利益を得ているから」が29.8%となっている。

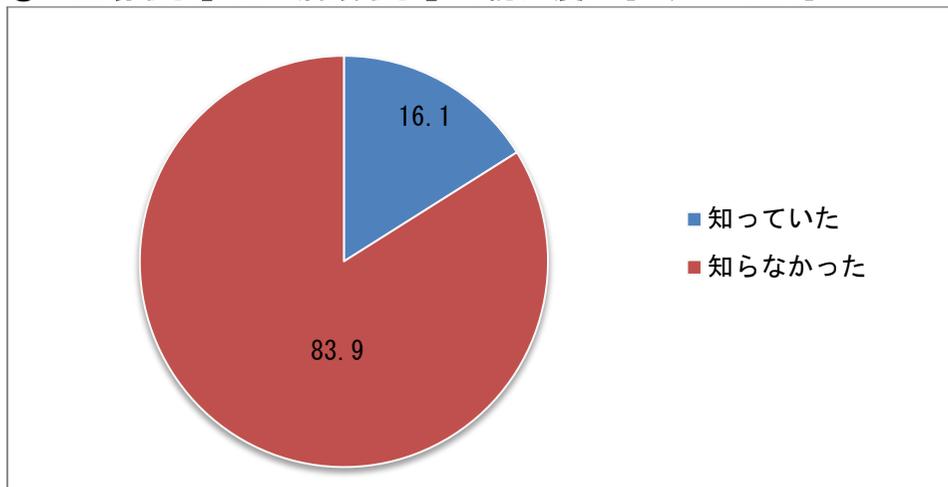
・外国為替証拠金取引（FX）につき、今後取引を行いたくない理由は、「リスクが高いから」が50.0%で最も高く、次に「投資する余裕がないから」が36.7%となっており、「わからない」との回答も16.2%となった。

⑥外国為替証拠金取引（FX） 取引を行いたくない理由

複数回答[%、n=1685]



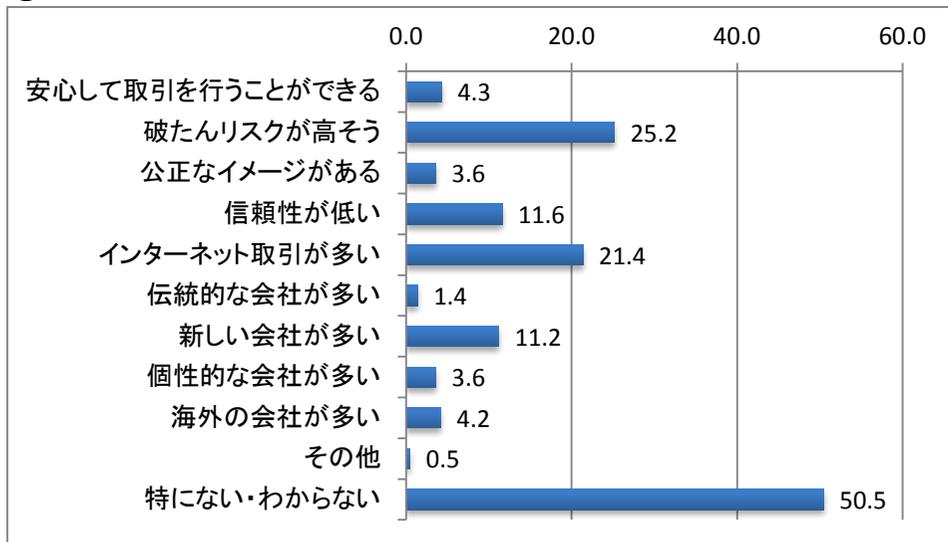
⑦「上場取引」と「店頭取引」の認知度 [%、n=2000]



・外国為替証拠金取引（FX）について、上場取引（取引所取引等）及び店頭取引の2つがあることを知っているかという点については「知っていた」は16.1%であった。

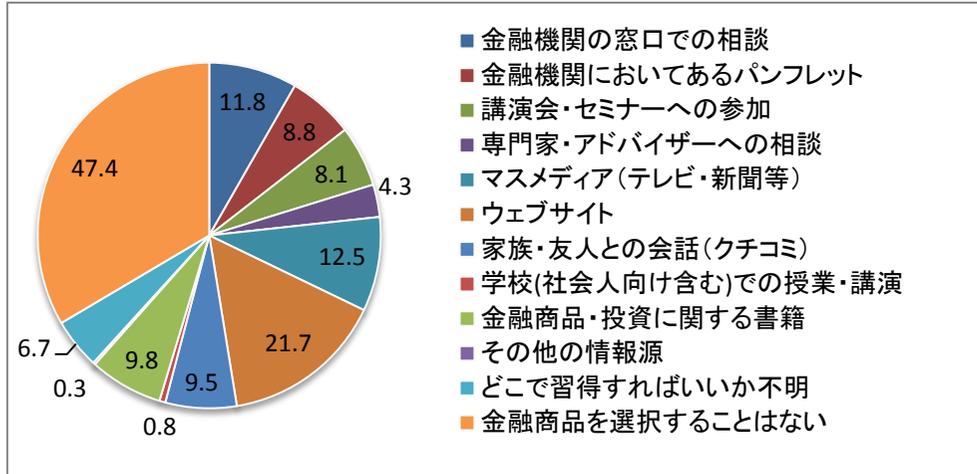
・外国為替証拠金取引（FX）業者の印象については、「破たんリスクが高そう」が25.2%、「インターネット取引が多い」が21.4%、「信頼性が低い」が11.6%、「新しい会社が多い」が11.2%となっている。また、「特にない・わからない」が50.5%と半数を占めている。

⑧外国為替証拠金取引（FX）業者の印象 複数回答 [%、n=2000]



4. 金融商品についての知識

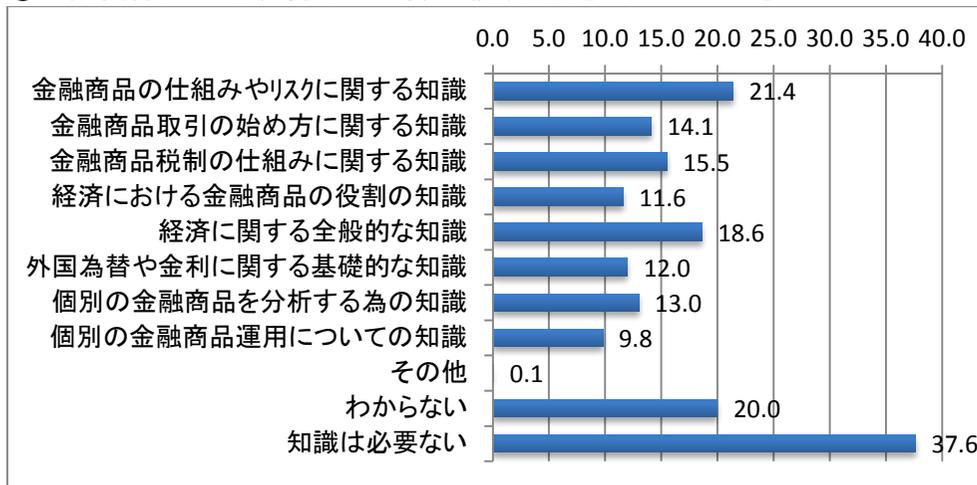
①金融商品についての知識・情報 収集方法 複数回答3つ迄[%、n=2000]



・金融商品における知識・情報をどのような機会を得ているかといった収集方法については、「ウェブサイト」が21.7%、「マスメディア（テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌等）」が12.5%となり、次に「金融商品取引業者や金融機関の窓口での相談（販売員の説明）」が11.8%が続いている。また、そもそも「金融商品を選択することはない」との回答が47.4%となっている。

・金融商品とその投資に関し、得たい知識については、「個別の金融商品の仕組みやリスクに関する知識」が21.4%となっている。一方、「知識は必要ない」が37.6%、「わからない」との回答が20.0%となっている。

②金融商品につき、得たい知識 複数回答[%、n=2000]



平成 28 年度 金融先物取引に関する個人投資家の意識調査における概要

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-3 NBF 小川町ビルディング

一般社団法人 金融先物取引業協会

本件に対するお問い合わせ：調査・分析プロジェクト T （担当：倉形）

禁無断転載